

そうだ 秋田、帰ろう...



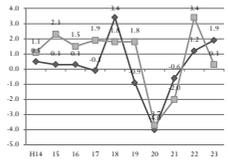
- 自己紹介
 - 保坂 伸(ほさか しん)
 - 昭和32年秋田生まれの56歳
 - 秋田高等機械科(中退です)→秋田南高校→亜細亜大学経済学部 昭和56年卒
 - 昭和57年～61年 国鉄秋田鉄道管理局勤務
 - 昭和62年～ 秋田県庁勤務、平成25年4月から雇用労働政策課長
- テーマ
 - 秋田県内の就職事情、Aターン等について

秋田県就職支援センター

秋田県の経済雇用情勢

◆ これまでと現状

- 主に製造業において、リーマン以後の円高や海外需要の減少などの影響を受け低迷していたが、最近ではやや上向き傾向
- 製造業の拠点再編による雇職者の発生など、厳しい状況が続いてきたが、やや改善傾向
- 全国との格差は拡大
- 経済成長率は、20年度にリーマンショック等の影響により△4.0%と大きく落ち込んだが、21年度には△0.6%まで回復し、22年度以降はプラス成長となるなど堅調に推移



◆ 今後

- 産業経済基盤の再構築を目指して県では以下のように重点的に取り組み事としています。
 - 新エネルギー関連産業など新たな戦略産業の創出・育成
 - 食・農・観光と売り込み
 - 東アジア等との経済交流の拡大
- 雇用の創出・確保を第一に以下の取り組みを推進しています。
 - 国の制度などを活用した雇用創出
 - 県独自の雇用対策で安定した雇職者を創出
 - 雇職者支援のためキャリアカウンセラーによる就職支援相談
 - スキル習得のためのセミナー開催、職業訓練など
 - 学生と県内企業との就職説明会等の開催によるマッチング機会
 - 企業ニーズに応じた職業訓練
 - 県外にいる人材のAターン就職を支援

秋田県の雇用情勢

一般求人状況

	有効求人倍率	
	秋田県	全国(平均)
平成21年度	0.32	0.45
平成22年度	0.45	0.56
平成23年度	0.57	0.68
平成24年度	0.69	0.82

※直近計25年11月は秋田県0.81、全国1.00となっており、リーマン以前の水準を越え、平成8、9年の水準となっているもの県内地域間での格差の差、全国との格差は拡大

大学等卒求人受理状況

	求人件数	求人数
平成23年度	520	1317
平成24年度	563	1489
平成25年度(4月～12月)	580 (前年同期比4.4件増)	1565 (前年同期比11.6人増)

※景気の先行きの明るさを背景に採用意欲が増大しており求人は増加傾向であるが、業種の偏りが見られる。

県内大学就職決定率

	県内就職	県外就職	合計
平成21年度	89.9	94.8	92.9
平成22年度	95.0	94.9	95.0
平成23年度	94.7	95.9	95.5
平成24年度	97.0	97.6	97.4
平成25年度11月末	68.5	82.3	77.4

Aターンの状況

Aターン登録状況

	新規登録	有効登録
平成23年度	341	1,563
平成24年度	379	1,599
平成25年10月末	65 (前年度同月比2.5人増)	1,925 (前年度同月比2.6人増)

※登録制度のエントリー方法の見直しや情報提供の強化から登録数は増加傾向。

Aターン求人・求職状況

	求人数(年累計)	求職者数(年累計)
平成22年度	557	1,783
平成23年度	1,913	2,083
平成24年度	2,246	1,924
平成25年10月末	1,677 (前年度同月比4.3人増)	1,424 (前年度同月比2.1人増)

Aターン就職者

	就職者	うちAターン就職者
平成22年度	1,028	93
平成23年度	1,142	137
平成24年度	1,121	165
平成25年10月末	743 (前年度同月比11.2人増)	75 (前年度同月比2.2人増)

※Aターン登録者以外でも、チャンスや直接エントリーにより就職するケースがある。

秋田県の産業(業界)構造

- 1次、2次、3次の現状
 - 就業人口からは第1次産業就業者が減少、第3次産業就業者数が増加、徐々にサービス関連産業の就業者数の割合が高くなってきている。
 - 産業別就業率は、第1次産業の割合が大きく、第3次産業の割合が小さくなっている。
 - これまでは、第3次産業の就業率が比較的に堅調に推移していたが、22年調査では全国並みの25%台となった。
 - 県内総生産は、第3次産業が全体の78.6%と高い割合。
- 産業集積の特徴
 - 電子部品・デバイス製造業の集積
 - 素材関連企業の立地
 - リサイクル産業の集積と金属リサイクル分野における高い技術
- 今後の展開方向等
 - 新エネルギー分野への注力(特に風力、地熱など自然エネルギー)
 - 6次産業(食・農・観の連携ビジネス)
- 秋田県産業界の声(求める人材)
 - 秋田県は大量の在県率が最下位である。人材流出を防いでほしい
 - 毎年新卒の募集をしているが応募がない。人材確保が難しい
 - 若い優秀な人材を県外に流出させず地域に留めるようにしてほしい
 - あいさつなど基本的なことができていない学生が多い、学校では人間的な教育にも力を入れて欲しい

秋田県内自治体就職支援機関の主な取組(1)

- 秋田県→県内就職希望登録制度(平成26年3月卒業予定学生:登録数約1,350人)
 - 県が開催する合同就職面接会等の開催案内
 - 就活に役立つメールマガジンの配信(面接会参加企業からのメッセージ、就職関連イベントのお知らせ)
 - ※平成27年3月卒業予定学生への情報発信は平成25年秋頃開始
- 秋田県→Aターン登録制度(秋田県内での就職を支援する登録制度)
 - メールによる新卒求人情報の提供
 - 情報の公開を可能とした方には、企業からの面接リクエスト制度を実施
 - 東奥で開催するAターン就職面接会の案内
 - Aターン情報誌「あきた日和」の発行
 - 秋田での採用面接を受ける際の交通費助成
- 秋田県社会福祉協議会→福祉の就職フェア
- 湯沢市→湯沢地区合同就職面接会
- 横手市雇用創出協議会→就職面接会
- ふるさと定住機構→地域中小企業の人材確保定着支援事業
 - 就活前講座等の各種研修・セミナーの開催
 - 学生対象の会社訪問・工場見学等
 - 大学就職担当者を対象とした県内企業見学
 - 秋田企業情報誌の作成
 - カウンセラーによる相談

秋田県内自治体就職支援機関の主な取組 (2)

- ◆ 情報源
 - 秋田県庁公式ウェブサイト (英の国あきたネット) <http://www.pref.akita.lg.jp/>
→産業・労働→雇用・労働・定住支援・アターン (雇用労働政策課のページ)
 - アターンプラザ (秋田県東京事務所)
➢ 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階 9時~17時45分
〒100-0120 0120-12-2255 FAX 03-5212-9116 Eメール: akita@akita.tokyo.jp
 - ウェブサイト (あきたのあんべ) <http://www.pref.akita.lg.jp/akitorisontakete/index/>
→トップページからアターン情報をご覧ください。(3月運用開始予定)
フェイスブックページ (あきた先込み隊首都圏営業本部)
<https://www.facebook.com/akitorisontakete?ref=fb>
→随時秋田の就職情報、アターン関連イベント情報などを発信中
 - 秋田労働局
→秋田県内のハローワークの雇用情勢など
 - (公財) 秋田県ふるさと定住機構
→アターン、移住関連など全般
010-1413 秋田市御所野地蔵田3-1-1 秋田テルサフ
TEL: 010-820-1731
ウェブサイト <http://www.furusato-tel.jp/>
→こちらからアターン登録ができます。

7

秋田県内自治体就職支援機関の主な取組 (3)

※今年度の大学生対象の事業

対象	時期	事業名	主な内容
平成26年度の3月卒業の大学生	5月7日	秋田県合同就職面接会 会場: 秋田ビューホテル	・県内企業の採用担当者による参加学生との面談等 ・ハローワーク職員による就職相談 ・求人票揭示、各種情報の提供 ・公務員の相談コーナー
	7月8日	秋田県合同就職面接会 会場: 秋田ビューホテル	・同上
	9月9日	秋田県合同就職面接会 会場: 秋田ビューホテル	・同上
平成27年度の3月卒業の大学生	10月23日	企業・大学等合同就職協議会 会場: 秋田ビューホテル	平成27年3月卒の大学生等の県内就職に向けて、県内企業採用担当者と県内外の大学等就職支援担当者が情報交換
	10月24日	秋田県内企業見学会	県内外の大学等就職支援担当者が県内企業を見学
	11月	就活サイトを活用した情報提供 (~2月)	就活サイトを渡し、県内就職希望登録勧奨と合同就職説明会等の情報を提供
平成26年1月	1月	秋田県合同就職説明会 東京会場、仙台会場、秋田会場	・県内企業の採用担当者からの概要説明 ・ハローワーク職員による就職相談 ・公務員の相談コーナー

8

企業の探し方

- ◆ コンタクト方法
 - 会社説明会・人事の方と直接
 - 会社訪問・会社訪問を受け付けてくれる企業も
 - メールや電話で直接→ホームページなどをチェックし自分からコンタクト
- ◆ マッチングの場
 - 合同就職説明会一会場の企業ブースを訪問し採用担当者からの説明
 - ・ ネット情報ではわからない情報を聞き、疑問や不安への直接の答えを得る
 - ・ 一日に複数の企業を回ることと比較可能
 - ・ H25年2月実施秋田県合同就職説明会の参加企業・参加者数
【秋田会場】107社、817人 【仙台会場】35社、80人 【東京会場】35社、161人
 - 合同就職面接会一会場の企業ブースを訪問し、採用担当者からの企業説明や面接
 - ・ 一日に複数の企業を回ること興味のある企業も訪問可能
 - ・ 一回に面接を受ける学生の人数に限りがあるので前もって計画を持って参加
 - ・ H25年実施秋田県合同就職面接会の参加企業・参加者数
【5月】97社、522人 【7月】79社、266人 ※【H24年9月】69社、310人

9

その他取組等

- ◆ 学校に対するアプローチ等
 - アターンプラザ秋田 (秋田県東京事務所内)
 - ・ 首都圏大学の就職支援担当者に対する県内就職に関する情報提供
 - ・ 県内就職を希望する首都圏大学の学生に対する情報提供など就活相談
 - 大学就職懇談会
 - ・ 首都圏大学の就職支援担当者や父母会の方へ、県内就職に関する情報を提供。
 - 企業・大学等合同就職協議会
 - ・ 県内企業の人事採用担当者と県内外大学等の就職担当者が情報交換
- おまけ (今年度新規採用職員、県内就職希望登録解除者からのアドバイス)
 - 自己分析、企業研究をしっかりと行い、後悔のない就活できるように頑張ってください。
 - 説明会に多く参加することが大切。
 - 自己分析をしっかりと行ってください。
 - たくさん企業を見て、自分に合うところを見つけてください。
 - 自己分析と企業研究が大事という意見が多かった。

10

県内公務員等 (H25年度の例では、、、)

- ◆ 秋田県庁
 - ・ ここ数年は行政Aでは二けたの採用をしております。
 - ・ また、学校事務と知事部局は採用を一本化して採用しております。
- ◆ 秋田県教員
- ◆ 秋田県警察
- ◆ 秋田市
 - ・ その他市町村は各自体ウェブサイトをチェックしてみてください。
- ◆ 外郭団体
 - ・ その他にも商工団体をはじめ団体は多くありますが、それぞれの採用計画で試験を実施しておりますので、ウェブサイトやアターンプラザ、ハローワークの情報をチェックしてみてください。

11

秋田県庁関係

試験区分	種別 予定数	受付期間	1次試験	2次試験	3次試験	合格発表	
							試験内容
秋田県庁	大卒程度	行政A	28	5月17日 ~ 6月1日	6月10日	7月下旬 ~ 8月上旬	8月10日
		行政B (準給した実績や経験を持つ者)	4				
		行政C (職務経験者)	2				
		化学	2				
		農学 (一般)	7				
		農業農村工学	5				
		看護	2				
		水産	1				
		林学	1				
		電気	1				
		土木	6				
		建築	2				
		職域	1				
警察事務	1						
電気 (警備)	2						
秋田県教員	小学校教諭等	15	5月10日 ~ 5月10日	7月17日 ~ 7月18日	9月1日 ~ 9月15日	10月15日	
	中学校教諭等	25					
	高等学校教諭等	20					
	特別支援学校教諭等	20					
	養護教諭	11					
秋田県警	警察官A1	20	5月17日 ~ 6月10日	7月10日 ~ 7月10日	8月1日 及び 8月11~12日	8月10日	
	警察官A2	40					
	女性警察官A	10					

12

秋田県内その他

試験区分		採用予定数	受付期間	1次試験	2次試験	3次試験	合格発表
秋田市	大卒程度	行政	6月17日～	7月28日	9月下旬	9月下旬	10月上旬
		土木					
		建築					
		電気					
		機械					
		化学					
農業	1						
秋田空港ターミナルビル(株)		一般職	9月7日～	10月20日	12月下旬		12月下旬
社福 秋田県社会福祉事業団		福祉職					
公益財団法人総合労働事業団		事務職					
(公社)秋田県商工会		事務職					
		技術職					
秋田県信用保証協会		事務職					
(公財)あきた企業活性化センター		事務職					
(一財)秋田県建設・工業技術センター		土木					
		化学・材料工学					

13

県内企業（別添資料）

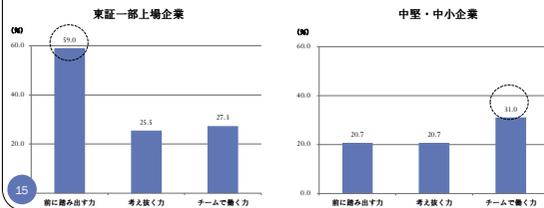
大卒面接会参加企業リスト

Aターン面接会参加企業リスト

14

社会人基礎力（1）

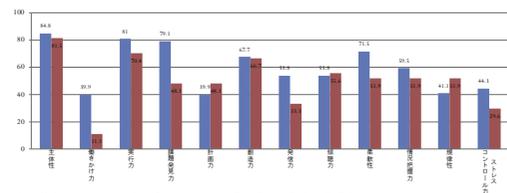
- 社会人基礎力とは・・・「職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」、
 - 前に踏み出す力（アクション）（主体性・働きかけ力・実行力）
 - 考え抜く力（シンキング）（課題発見力・計画力・創造力）
 - チームで働く力（チームワーク）（発進力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力）
- 約9割の企業が新卒社員の採用プロセスや入社後の人材育成において「社会人基礎力」を重視。
 - 企業の「求める人材像」においては東証一部上場企業においては「前に踏み出す力」を、中堅・中小企業においては「チームで働く力」を重視する企業が多く見られた。



15

社会人基礎力（2）

- 企業の求める能力要素は、規模に関わらず、「主体性」、「実行力」、「創造力」が高い割合。
- 大企業では、「働きかけ力」、「課題発見力」、「柔軟性」がより高く求められる傾向。
- 中小企業では、「傾聴力」、「規律性」などを重視する企業が大企業より多い。



- 社会人基礎力に関する緊急調査によると、企業の求める社会人基礎力は、
 - 運輸・通信業→前に踏み出す力、チームで働く力、要素別は計画力、柔軟性
 - 卸売・小売業→チームで働く力、要素別は働きかけ力、規律性、ストレスコントロール力
 - 金融・保険業→考え抜く力、チームで働く力、要素別は課題発見力、規律性、ストレスコントロール力
 - 建設業→チームで働く力が顕著、要素別は計画力
 - サービス業→前に踏み出す力が顕著、要素別は創造力、傾聴力、ストレスコントロール力
 - 製造業→考え抜く力が顕著、要素別は主体性、創造力

16